

「固形腫瘍・リンパ腫関連遺伝子検査」 検体提出方法変更のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

この度、「固形腫瘍・リンパ腫関連遺伝子検査」の検体提出方法統一のため、下記項目を別掲のとおり変更させていただきます。

誠に勝手ではございますが、事情をご賢察の上、何卒ご了承の程お願い申し上げます。

謹白

記

対象項目

- 3417 マイクサテライト不安定性検査(リンチ症候群)
- 3639 C-KIT 遺伝子変異(GIST)
- 3679 BRAF 遺伝子(ベムラフェニブ)
- 3730 PDGFR α 遺伝子変異(GIST)
- 3863 BRAF 遺伝子(ダブラフェニブ・エンコラフェニブ)
- 3874 RHOA G17V 変異解析
- 3918 RAS-BRAF 遺伝子変異解析

変更期日

- 令和4年5月2日(月) 受付日分より

●固形腫瘍・リンパ腫の検体提出方法変更内容

ホルマリン固定パラフィン包埋(FFPE)組織の適正な解析結果のためには腫瘍細胞含有率が重要です。腫瘍細胞含有率の確保を目的に検査材料および検体提出方法を変更させていただきます。本変更に伴い、未染スライドをご提出の際は、病理組織診断にて腫瘍が認められた部位をマーク(実線で囲む)したHE染色スライドを併せてご提出ください。

また、ホルマリン固定検体の取り扱いについても下記のとおり統一させていただきます。

項目コード	検査項目名	検査材料	
		新	旧
3417	マイクロサテライト不安定性検査(リンチ症候群)	未染スライド 5枚(5μm厚) または 組織 30mg(3mm角) ※ EDTA加血液 2mL (非癌部位として使用)	未染スライド 4~5枚(5μm厚) または 組織 30mg(3mm角) ※ EDTA加血液 2mL (非癌部位として使用)
3639	C-KIT遺伝子変異(GIST)	未染スライド 10枚(5μm厚) または 組織 30mg(3mm角) (※1)	未染スライド 10枚(5μm厚) または パラフィン切片 10枚(5μm厚) または 組織 30mg(3mm角)
3679	BRAF遺伝子(ベムラフェニブ)	未染スライド 5枚(5μm厚) (※1)	未染スライド 4~5枚(5μm厚) または パラフィン切片 4~5枚(5μm厚)
3730	PDGFRα 遺伝子変異(GIST)	未染スライド 5枚(5μm厚) または 組織 30mg(3mm角) (※1)	未染スライド 5枚(5μm厚) または パラフィン切片 5枚(5μm厚) または 組織 30mg(3mm角)
3863	BRAF遺伝子(ダブラフェニブ・エンコラフェニブ)	未染スライド 5枚(5μm厚) (※1)	未染スライド 4~5枚(5μm厚) または パラフィン切片 4~5枚(5μm厚)
3874	RHOA G17V変異解析	未染スライド 5枚(5μm厚) または EDTA加血液 3mL または 骨髄液 1mL (※1)	未染スライド 5枚(5μm厚) または パラフィン切片 5枚(5μm厚) または EDTA加血液 3mL または 骨髄液 1mL
3918	RAS-BRAF遺伝子変異解析	未染スライド 5枚(5μm厚) または 組織 30mg(3mm角) (※1)	未染スライド 5枚(5~10μm厚) または パラフィン切片 5枚(5~10μm厚) または 組織 30mg(3mm角)
<p>【未染スライドご提出時の留意事項】 ・病理組織診断にて腫瘍が認められた部位をマーク(実線で囲む)したHE染色スライドを併せてご提出ください。</p> <p>【ホルマリン固定検体の取り扱いについて】 ・ホルマリン固定検体では、固定条件によって核酸の断片化が著しく、解析不能となる場合があります。検体の取り扱いについては、日本病理学会の「ゲノム診療用病理組織検体取扱い規程」および関連学会による各種ガイドライン等をご参照ください。</p> <p>(※1)対象材料からパラフィン切片を削除いたします。</p>			

※その他検査要項に変更はございません。